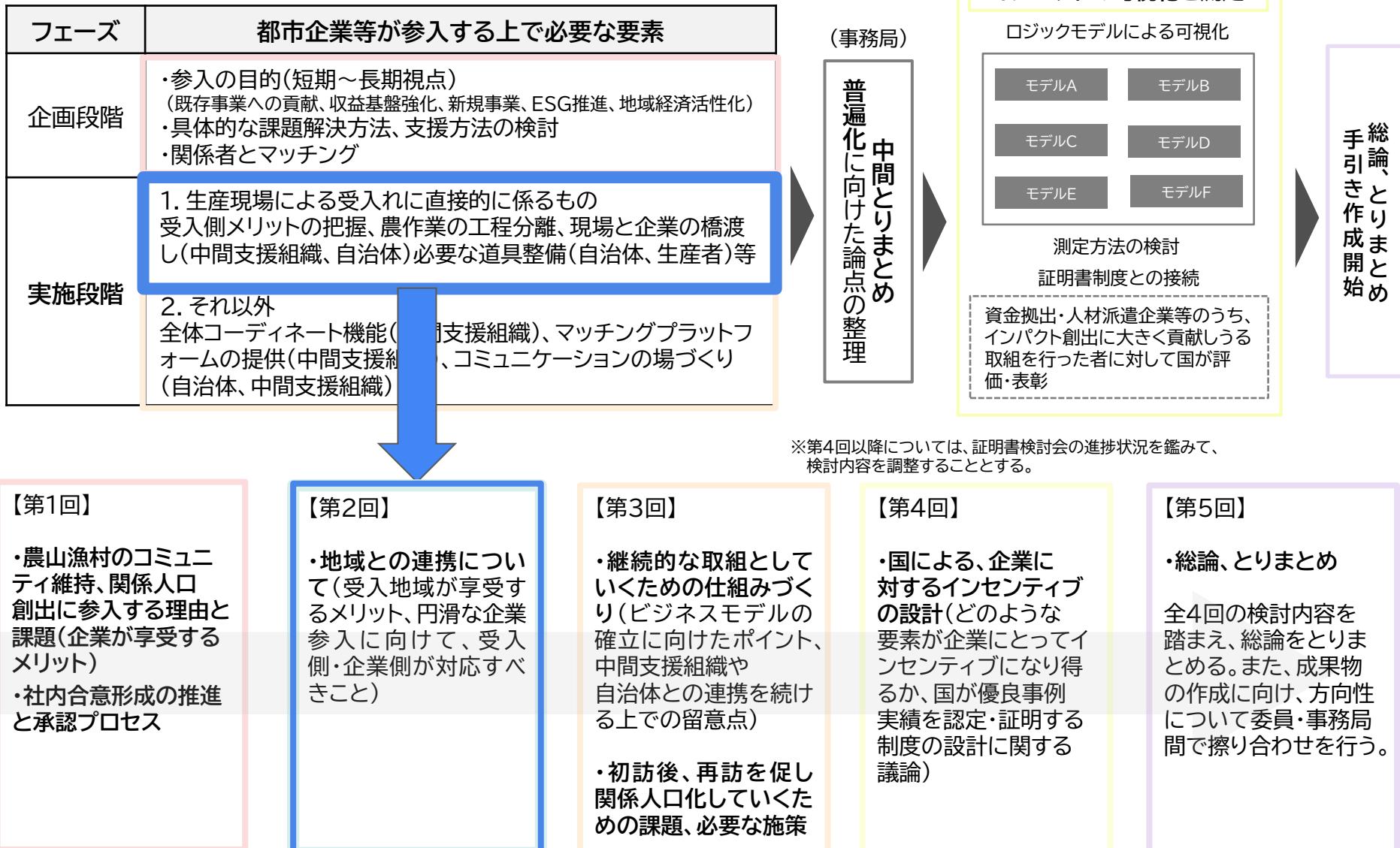


# 第2回検討会の議論テーマについて



2025年9月

# 本検討会における検討事項



## 本日の議論テーマ

テーマ①:大企業の農山漁村参入による、受入側(地域・生産現場)が享受するメリットは何か

→ 議論のゴール: 受入側(地域・生産現場)のメリット明確化

(議論のポイント)

- ・ **企業**:成功事例から分かった受入側(地域・生産現場)のメリット、失敗事例から想像される創出すべきメリットとその方法、課題
- ・ **中間支援組織/自治体**:具体的な事例に基づくメリットと課題、意識すべき点など

(地域側のメリットのイメージ・一例)

	短期	中長期
地域事業者メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 繁忙期における人手不足の解消</li><li>● 社員との交流による学びやモチベーションの向上</li><li>● 購買、サービス利用による売上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 繁忙期における生産体制の安定化</li><li>● 連携継続におけるブランディング</li><li>● 取引先としてのビジネス機会創出</li><li>● 経営やマーケティング等の伴走支援</li></ul>
自治体メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 連携実績によるPR効果(地域内:郷土意識向上、地域外:ブランディング)</li><li>● 地域のファン(関係人口)の獲得</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 包括連携協定等他領域における連携強化</li><li>● 移住定住者候補の獲得</li></ul>
住民メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 社員との交流による地域魅力の再発見</li><li>● 住民と社員個人同士のつながり作り</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 繋がり継続による充足感</li><li>● 地域課題解決の相談</li></ul>

## テーマ②の議論イメージ

テーマ②:円滑な参入に向けて受入地域が対応すべきこと、企業が対応すべきことは何か

→ 議論のゴール：受入地域と企業の対応すべき事項/方法/必要な工夫の明確化

以下プレイヤー毎の議論ポイントを、次頁記載の事業検討プロセスと照らし合わせながら確認したい



### 【生産者側】

- 初心者の受け入れに対する環境整備と、技術面・心理面でのサポート



### 【自治体側】

- 受入に関する生産者/企業双方へのサポート



### 【中間支援組織側】

- 受入に関する生産者/企業双方へのサポート
- 地域との最初の接点づくり



### 【企業側】

- 農山漁村におけるソリューションの提供

## 想定される役割・留意点の例

企業参入に当たって各ステークホルダーに求められる役割・留意点として、以下のようなものが考えられる。

### 生産者

- ・農作業の工程の分離
- ・企業との積極的なコミュニケーションによる友好関係の構築

### 企業

- ・自社のソリューションに係る分かりやすい説明
- ・生産者の生産物＝資産を扱うという意識
- ・農作業における「素人」であるとの自覚

### 自治体・中間支援組織

- ・生産者と企業との最初の接点づくり
- ・生産者と企業との認識の擦り合わせ
- ・生産者と企業の双方が持つ懸念点の解消に向けた、情報発信やコミュニケーションの場の提供
- ・必要な道具の整備、着替え等を行う拠点や宿泊環境の案内
- ・生産者・企業の取組における補助業務

## 具体的な論点

- 各プロセス(下図)において、各ステークホルダーがどのように関わるか。
- 自治体と中間支援組織の役割分担はどのようにすべきか。
- 地域と企業とのマッチング率を高めるための方策や、中間支援組織に求める役割とは何か。
- 企業と中間支援組織はどのように連携していくか。
- 農山漁村において企業が持つべき意識は何か。

